

■小学生高学年部門

感謝されっぱなしのお母さん

浦臼町立浦臼小学校 6年

庄野 うらら

お母さんは、いつも私と姉のために、多忙な仕事をこなしながらがんばって働いています。お母さんの仕事は、老人ホームの介護士です。朝の6時10分から夕方の3時までの勤務や、正午から夜の9時までの仕事の勤務など色々な時間帯で働きに出ています。

そんなお母さんはいつも忙しく、時間が無くても私たちのためにおいしいご飯を作ってくれます。お母さんが仕事でいなくて一人でご飯を食べたりすることもあります。考えて作ってくれた料理は、とってもおいしいし全然平気だなどと思います。

私のお母さんは、家事も完璧にこなしてくれます。私たちがたまに掃除を手伝いますがそれ以外は、一人で家事をこなしているし、スーパーウーマンの母を少し、自慢に思っています。

お母さんがいなくて大変な時は、近くに住むおばあちゃんが面倒をみてくれます。私たちが低学年の頃は、夜勤の時も必ず面倒をみてくれていたことを思うと、とっても感謝しています。そんな私のおばあちゃんは、農業の仕事をしながら、面倒をみてくれたので、それを考えると、すごいことだと思いました。

お母さんは、私たちと休みが合う日は、札幌や旭川など、遠い所にも連れていってくれます。

お母さんは、怒ると怖い瞬間が、たくさんあって嫌だなど思うこともありますが、それは自分が悪い時も多いので、怒られないように気を付けたら良い話です。

私がお母さんに一番感謝していることは、一人親なのに、弱音を吐かずに育ててくれたということです。お母さんはたまに、

「がまんしてね。」

ということがありますが、お母さんが一番がまんしていると思っています。お母さんは、いつも自分の分をがまんして、私と姉に買ってくれます。いつも感謝しています。

私の夢は、看護師になることです。もしもその夢がかなったら、お母さんはフレンチブルドックが好きなので買ってあげたいです。

お母さんに、いつも苦勞ばかりかけているので、これから少しずつそう言うことを無くしていきたいですし、よく怒られるので気を付けて生活していきたいです。それに次は、人を感謝する番から、感謝されるようになりたいと思っています。